

助けを求めあえるまちに！！

リニモ沿線11大学の学生による、地域活性化イベント。

リニモ沿線合同大学祭



平成25年 3月18日
リニモ沿線合同大学祭実行委員長

愛知県立大学
教育福祉学部 教育発達学科 4年
北見怜子

はじめに



- リニモ沿線合同大学祭とは

お互いに助けを求めあえる関係を作りたい！
学生と地域をつなぎたい！

このような思いから、合同大学祭の開催に至りました。



開催概要



- 事業名称 リニモ沿線合同大学祭（初開催）
- 会期 平成25年2月17日（日）
- 会場 モリコロパーク
（体育館、地球市民交流センター内一部）
- 主催 リニモ沿線合同大学祭実行委員
（構成：沿線9大学76名、当日スタッフ55人）
- 支援 リニモ沿線地域づくり調査研究会
（愛知県・長久手市・日進市・瀬戸市・豊田市）
- 後援 中日新聞社
- 協賛 沿線26社、4施設3団体
- 来場者数 3000人

目的：助けを求め合えるまちをつくる



きっかけ

2011年9月被災地にて復興支援活動に参加した学生が、

- ① 地域住民同士が助けを求め合えることの大切さ
- ② つながりの大切さ
- ③ 学生が地域で発揮する力を学び、自分の地域でも活かしたいと考えた。

現状

学生：大学のまわりの地域のこと、地域住民のことを知らない

地域住民：学生の協力を求める際、どこへ依頼すれば良いかわからない

まずは学生ネットワークをつくり、学生と地域をつなぐ体制をつくることで、学生も地域住民同士もお互いに助けを求め合える地域に

事業内容 1

◇リニモ沿線の施設（地域資源）を紹介！

おでかけリニマップ

プレ事業として、施設の情報や地域のおすすめスポットを学生目線で紹介し、駅や施設でのスタンプラリーを開催。



作陶体験

愛知県陶磁資料館の学芸員さんとお話しながらの作陶体験。



施設紹介クイズラリー

クイズラリー形式の施設紹介。

地域のおすすめスポットを来場者からも
引き出し、共通の話題づくり



事業内容 2



◇学生と地域が助けを求めあって実現した模擬店

『リニモ笑店街』ブース出店：18団体



ふるちゃん心の書
ムコ多糖症患者の力強い書にと
とても勇気をもらえます。

お菓子の家

地域のハン屋さん・洋菓子屋さんの協力のもと、たくさんの来場者さんとお菓子を貼り付けて完成！



手作りクワシガーナ

文字を入れ替えると『長久手市』
軍手1枚で可愛いティヘアを作成。

事業内容 3



◇地域住民や学生に出会えるステージ企画

出演者：約300人

ヒッポファミリークラブ

子どもから大人まで誰でも
みんなで英会話を楽しもう！
と地域に呼びかけました。



事業内容 4



◇沿線のカフェ等で学生と地域住民とがつながる！

参加者：183人

旅行や留学、就活、子育て、ボランティアなど、自分の興味のあるテーマについて食事をしながら世代を越えて会話を楽しみます。



事業効果



- 合同大学祭を通して世代を越えて地域住民と学生が出会い、つながりをもつことができた。
- 学生：他大学の学生、他世代の方とのつながり
→ 地域の魅力への気づき、
- 地域住民：元気でフットワークの軽い学生とのつながり
→ 困ったときに頼れる学生への信頼・期待。

イベントはきっかけづくり



リニモ沿線合同大学祭は、開催することが目的ではありません。

開催の過程で出会い・つながり、

開催後も継続してつながり続けることを

大切にして活動を続けていきます。

地域の中で学生がつながりをつくる接着剤になりたい！

地域に出動！！





＼ご清聴ありがとうございました／

